

## 2025年農林業センサスから農業経営体数

農林水産省は、2025年農林業センサス（2025年2月1日現在）の概要を公表した。農林業センサスは1950年から5年ごとに実施され、今回で16回目となる。このなかで、農業経営体とは、(1) 経営耕地面積が30a以上の規模の農業、(2) 次の基準以上の農業、すなわち①露地野菜作付面積15a、②施設野菜栽培面積350㎡、③果樹栽培面積10a、④露地花き栽培面積10a、⑤施設花き栽培面積250㎡、⑥搾乳牛飼養頭数1頭、⑦肥育牛飼養頭数1頭、⑧豚飼養頭数15頭、⑨採卵鶏飼養羽数150羽、⑩ブロイラー年間出荷羽数1,000羽、および(3) 農作業の受託の事業を行う者をいう。

農業経営体は10年前の2015年センサスの137万7千経営体から、2020年には107万6千経営体へと、30万経営体(21.9%)が減少し、さらにその5年後の今回の調査では24万7千経営体が減少し、82万8千経営体となり、この5年間

の減少率は23.0%と前回よりも高く、10年前の6割に減少している。

農業経営体全体のうち個人経営体は78万9千経営体(全体の95.2%)であるが、高齢化による離農で減少傾向が続き、5年前に比べ24万8千経営体(23.9%)減少した。

一方、団体経営体は3万9千経営体と、1千経営体(2.9%)増加した。このうち法人経営体は3万3千経営体で5年前に比べ2千経営体(7.9%)増え、団体経営体に占める法人経営体の割合は5年前より4ポイント増の84.0%となっている。

地域別に5年前からの農業経営体全体の減少率をみると、北海道、沖縄の16%以外の地域では20%を超えており、東海27.0%、北陸26.6%、中国25.1%が高い。一方、法人経営体の増加が5年前に比べ1割を超える地域は、近畿118.3%、東海111.6%、沖縄110.8%となっている(表-1)。 (K.O)

表-1 全国農業地域別の農業経営体数(2025年農林業センサス)

地域	合計		個人経営体		団体経営体		法人経営体	
	経営体数	A (%)	経営体数	A (%)	経営体数	B (%)	経営体数	B (%)
全国	828,405	23.0	788,942	23.9	39,463	102.9	33,146	107.9
北海道	29,025	16.9	24,606	19.5	4,419	101.7	4,221	104.3
東北	148,805	23.4	142,656	24.1	6,149	97.5	4,620	108.3
北陸	55,973	26.6	51,972	28.9	4,001	104.1	3,099	108.4
関東・東山	181,020	23.3	174,644	24.8	6,376	107.3	5,737	109.0
東海	67,589	27.0	64,516	28.1	3,073	107.3	2,745	111.6
近畿	81,975	21.1	78,708	21.9	3,267	108.8	2,350	118.3
中国	72,305	25.1	69,189	26.0	3,116	99.6	2,573	103.3
四国	50,817	22.3	49,198	22.9	1,619	103.3	1,460	103.5
九州	131,414	20.1	124,453	21.0	6,961	100.5	5,871	106.8
沖縄	9,482	16.2	9,000	17.2	482	110.8	470	110.8

注) A(%)は2020年センサス調査の経営体数からの減少率、B(%)は経営体数に対する比率